

【令和8年2月8日開催 会場：日立システムズホール仙台 コンサートホール】

第46回（公社）宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

中級A

予選通過者番号

1	2	3	6	9	10	11	13	15	16
17	19	20	21	22					

審査講評：横山 留美 審査員長

今日は真摯に向き合う演奏をきかせていただきありがとうございました。

少し、今日の感想を含めてお話したいと思います。

皆さんはそれぞれの楽曲をミス無く最後まで弾けることをひとつの目標にあげていませんか。

そう、それはあたり前のことです。しかし、そこに最大の目標を置いてしまうと、作曲家が楽曲を託した思いを、弾き手である皆さんに見逃してしまう恐れがあるのではないかでしょうか。

それぞれの楽曲は拍子を持っています。例えば同じ四分の四拍子の楽曲でも、その楽曲により拍の感じ方が異なります。速さが同じであっても軽い1拍なのか重い1拍なのか……。そこから四拍子を組み立てなければなりません。メロディーやリズムが もっと生き生きとする拍を感じ取ることが、実はその楽曲のとても大切なところに気づかせてくれます。それから、今回のように表題がついている楽曲の表現にもつながることだと思います

皆さん、これからもずっとピアノと付きあっていって欲しいと思っています。

中級B

予選通過者番号

1	2	3	6	7	8	12	13	14	15
20	21	22	24	25					

審査講評：横山 留美 審査員長

本日は大変お疲れ様でした。一人ステージに出て演奏することはどれだけ大変なことか…。

少し今日の感想を含めてお話したいと思います。

皆さんはきっと自分の気に入ったメロディーやハーモニーに出会うととてもうれしくなったり、胸が熱くなったりするでしょう。その「感動している」ということが弾くこと、弾かされていることのとても素晴らしいことです。しかし、その「感動している」あまり、実際に弾いている音が、実はしっかりと聴かず、想像の中で音を出してしまったりすることがあると思います。そこで大切になるのが、楽曲の基になるもの、メロディーの「モティーフ」を取り出してみることを実践してもらいたいのです。

そこにはリズムやハーモニーも同時にありますね。その最も基になる「モティーフ」をみつければ、それがどのように変化したり、応答したりすることに気が付きます。今迄全く気がつかなかつた音楽の秘密に少し近づけます…。

今回はメロディーのことに重きを置きましたが、中級 A の方でお話しした拍子のことなども共通にお伝えしたいと思いますので、そちらもお読みいただければと思います。

今日の経験は一つの財産になり、演奏も精神的にも成長なさったことでしょう。

これからも末永くピアノと歩いていって欲しいと思っています。